

第89回全日本男子ホッケー選手権大会

第 2 日

開催日時 12 月 12 日 (土) 会場

親里ホッケー場

天候 晴れ

<B組> 天理大学 勝点3 1勝1敗		5	$\begin{pmatrix} 1-0 \\ 0-0 \\ 2-0 \\ 2-0 \end{pmatrix}$	0	明治大学 勝点0 2敗	
<A組> 箕島クラブ 勝点4 1勝1分		5	$\begin{pmatrix} 1-0 \\ 2-0 \\ 2-1 \\ 0-1 \end{pmatrix}$	2	福井クラブ 勝点0 2敗	
<B組> 名古屋フラーテル 勝点6 2勝		4	$\begin{pmatrix} 0-0 \\ 2-0 \\ 1-0 \\ 1-2 \end{pmatrix}$	2	ALDER 飯能 勝点3 1勝1敗	
<A組> 山梨学院大学 勝点4 1勝1分		1	$\begin{pmatrix} 1-1 \\ 0-0 \\ 0-0 \\ 0-0 \end{pmatrix}$	1	立命館大学 勝点2 2分	

< B組 >

天理大学 5 $\begin{pmatrix} 1 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \\ 2 & - & 0 \\ 2 & - & 0 \end{pmatrix}$ 0 明治大学

勝点 3
1勝1敗

勝点 0
2敗

4 PC 0
11 シュート 2

得点	天理→ 5分松本、34分落合、38分落合、51分山田、52分橋本
戦評	明治大のセンターパスにより試合が開始された。立ち上がりから天理大は明治大陣内で優位にゲームを進める。5分、天理大がPCを連続獲得。GKのリバウンドをFW松本がリバースヒットで決め先制。1-0で第1Qが終わる。第2Qも両チームとも得点チャンスを活かせず、1-0のまま。第3Q、追いつきたい明治大は反撃を仕掛けるがその後にできたスペースを上手く攻め込んだ天理大は34分・38分にMF落合が豪快なシュートを決め3-0とし第3Qを終わる。第4Qも波に乗る天理大は、51分にPCを獲得。DF山田がスウィープシュートを決めると、52分にはFW橋本がタッチシュートを決め5-0の圧勝で明治大を下した。

テクニカルオフィサー	馬場治男	ジャッジ	西上英雄
アンパイア	高橋英行		中野典子
	元宗宏寿		喜夢正司

< A組 >

箕島クラブ 5 $\begin{pmatrix} 1 & - & 0 \\ 2 & - & 0 \\ 2 & - & 1 \\ 0 & - & 1 \end{pmatrix}$ 2 福井クラブ

勝点 4
1勝1分

勝点 0
2敗

6 PC 2
14 シュート 11

得点	箕島→2分江川、23分西川、26分西川、38分川村、45分西川 福井→32分三谷、52分松田
戦評	福井のセンターパスにより試合が開始された。試合開始早々、箕島のエースFW田中健がPSを獲得。それをFW江川が落ち着いてゴール左上に決め先制する。その後もチャンスを作るが得点に結びつける事が出来ず1-0で第1Qが終わる。第2Qも両チーム激しい攻防を繰り広げる中、23分に箕島がPCを獲得、サークル内のこぼれ球をMF西川がダイレクトスウィープシュートで決める。26分にもMF西川がフリックシュートを決め3-0で第2Qを折り返す。第3Q開始早々、福井はMF三谷カガがダイレクトヒットを決め点差を縮める。直後、箕島が35分・36分と立て続けにPCを獲得するが得点には至らない。それでも攻め続ける箕島は38分、FW川村が豪快なリバースヒットシュートを決め勝利を手繰り寄せる。45分に箕島はMF西川が左下にダメ押しフリックシュートを決め第3Qを終える。第4Q53分、MF松田がバックライン付近からヒットシュートを決め必死の猛攻を仕掛けるがここまで。5-2で箕島が勝利した。

テクニカルオフィサー	平尾豊	ジャッジ	今庄充世
アンパイア	藤原信幸		樋口修
	西山宏明		奥田好廣

< B組 >

名古屋フラーテル	4	$\begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 2 & - & 0 \\ 1 & - & 0 \\ 1 & - & 2 \end{pmatrix}$	2	ALDER 飯能
勝点 6 2勝		勝点 3 1勝1敗		
5	PC	4		
13	シュート	3		

得点	名古屋→20分畠山、22分畠山、43分小野、57分藤本
	飯能→48分大野、50分北里
戦評	<p>名古屋のセンターパスにより試合が開始された。試合開始早々、飯能がPCを獲得するがGK新本の好セーブで得点出来ない。序盤から両チームとも激しいを猛攻を仕掛け、チャンスを作るも得点に結びつけることが出来ない。第1Qを終える。第2Q、20分・22分に名古屋がPCを獲得。DF畠山がフリックシュートを連続で決め、2-0と点差を広げる。なんとか得点が欲しい飯能は必死の反撃を見せるが、名古屋のゴールを割ることが出来ず第2Qを折り返す。さらに攻める飯能は第3Q、9分・10分と連続でPCを獲得するが名古屋の守りを崩す事が出来ない。直後、名古屋が巧みなパスワークからMF小野がゴールを決め、3-0とし、第3Qを終える。猛追する飯能は第4Q開始早々、PCを獲得。DF大野が右上に豪快なフリックシュートを決め、1-3とする。直後、飯能がPSを獲得。FW北里が落ち着いてゴール右下に決め2-3と詰め寄るが、名古屋は、LCの巧みなセットからFW藤本がタッチシュートで4点目を決め名古屋が激闘を制した。</p>

テクニカルオフィサー	千野雅人		西上英雄
	成田健一	ジャッジ	中野典子
アンパイア	木下英貴		喜多正司

< A組 >

山梨学院大学	1	$\begin{pmatrix} 1 & - & 1 \\ 0 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \end{pmatrix}$	1	立命館大学
勝点 4 1勝1分		勝点 2 2分		
1	PC	7		
1	シュート	8		

得点	山梨→5分伊藤
	立命館→3分津田
戦評	<p>立命館のセンターパスにより試合が開始された。第1Q開始早々、立命館がPCを獲得。GKのリバウンドをFW津田がダイレクトで決め先制。しかし、2分後に山梨がPCを獲得。DF伊藤が左下にフリックシュートを決め、試合を振り出しに戻した。第2Qも両チーム得点のチャンスを作るも、得点出来ず、同点のまま第2Qを折り返す。第3Q、立命館は7分・8分・10分とPCを獲得するが、山梨の堅い守りを崩す事が出来ない。一方、山梨も素早いカウンターからチャンスを得るが、得点出来ず同点のまま第3Qが終わる。第4Q、55分に立命館はPCを獲得するが山梨GK藤原の好セーブに阻まれ、互いに決定打を欠き1-1の同点で試合が終了した。</p>

テクニカルオフィサー	馬場治男		今庄充世
	渡邊道彦	ジャッジ	樋口修
アンパイア	児玉茂樹		奥田好廣